

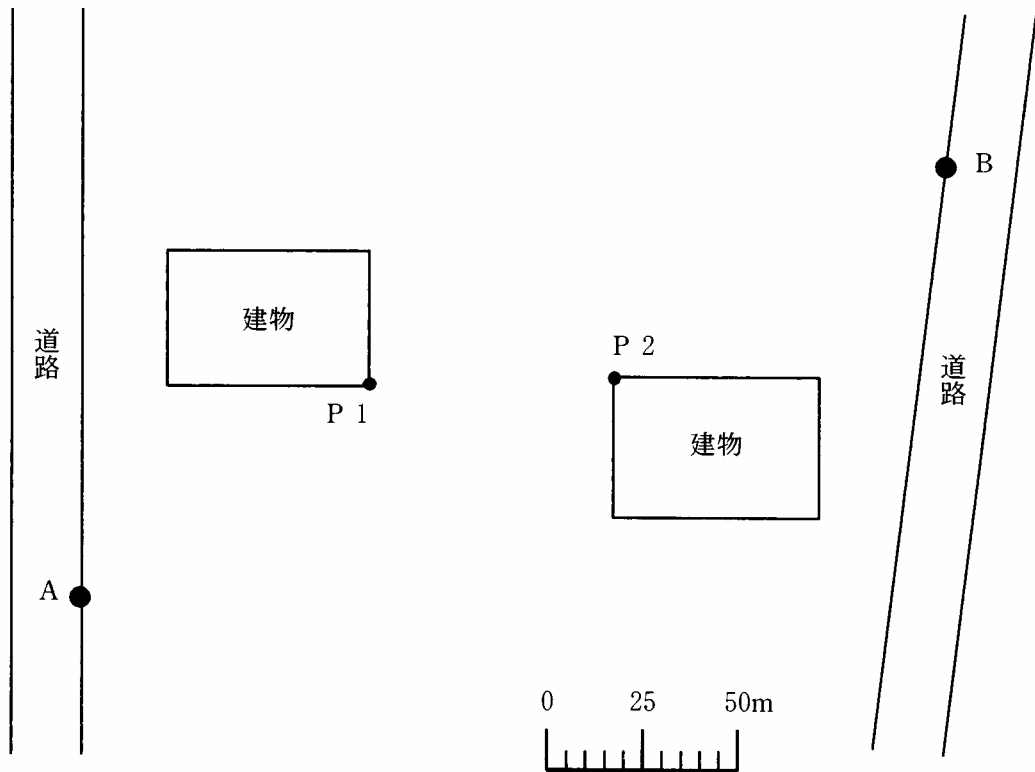
<H17 - pm5 - A：問題>

図 5 - 1 の地区において、新しい接続道路を建設することになった。この道路の中心線は、図中の A 及び B からそれぞれ直線区間を設け、それに続く円曲線部分と、これに挟まれた直線部分によって構成する。このうち A 及び B における交差角は直角とし、円曲線部分の接線長は、それぞれ 30 m とする。

また、各建物の条件点 P1、P2 から中心線に下ろした垂線の長さが 20 m となるようにする。

次の事項について、それぞれ解答欄の図 5 - 1 に **赤鉛筆** で記入せよ。

- ・ 円曲線部分の接線(定規を使用すること)
- ・ IP (○で表示し、IP と記入すること)
- ・ 中心線の概略線形(直線部分については、定規を使用すること)
- ・ それぞれの円曲線部分の始点と終点(すべて●で記入すること)



<H17 - pm5 - B：問題>

標準的な公共測量作業規程に基づいて行われる路線測量における縦断測量について、測量作業の目的及び作業手順を簡潔に述べよ。また、この測量作業で使用する測量機器及び得られる成果などの種類を、それぞれ三つ、解答欄に記せ。

<H17 - pm5 - C：問題>

図 5 - 2 の地区において、新設道路の用地買収を行うため、標準的な公共測量作業規程に基づいて、用地幅杭及び用地境界仮杭を設置したい。道路の計画幅を中心点の左右それぞれ 10 m、中心点間隔を 20 mとした場合、中心杭、用地幅杭、用地境界仮杭のそれぞれの位置を全て記せ。

ただし、中心杭は **赤鉛筆で**、用地幅杭は **黒鉛筆で**、用地境界仮杭は **青鉛筆で** それぞれ●を記入するものとする。なお、図中の B C (円曲線始点)は、No.5 + 10 mとする。

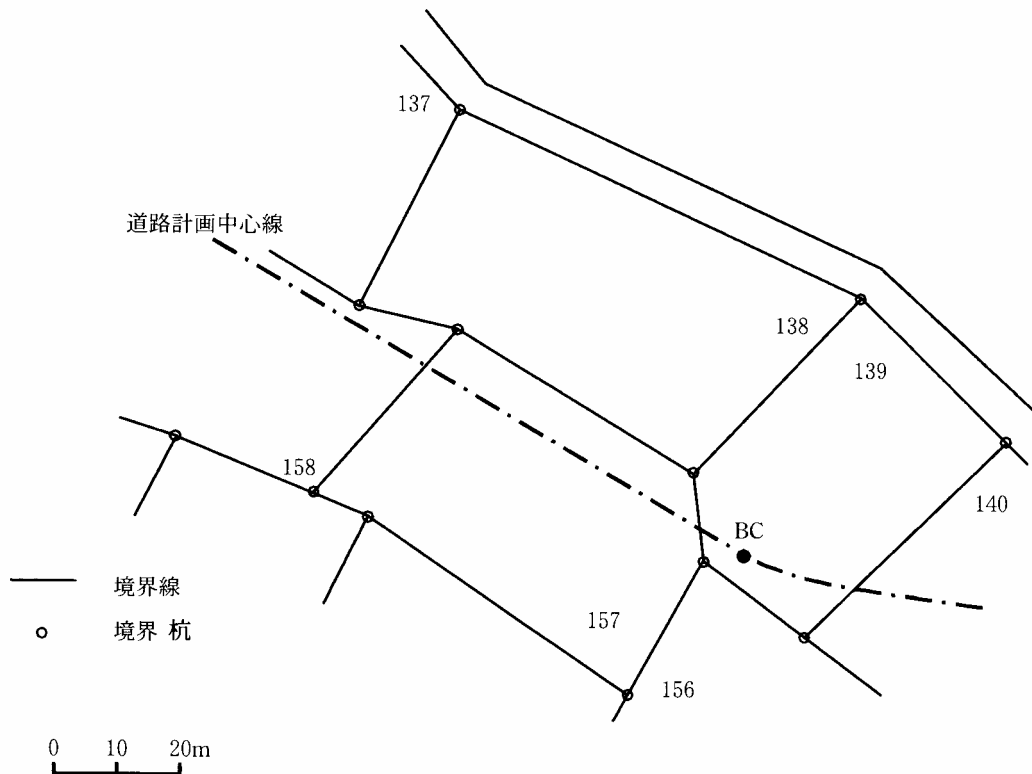


図 5 - 2

<H17 - pm5 - D - 1：問題>

図 5 - 3 は、水田地域を流れる河川の一部を示したものである。上流部の降雨の影響による流量変化を、年間をとおして調べるため、新たに流量観測所の横断見通し線を設けることになった。図中に示す 4 本の候補 A、B、C、D のうち、不適切な見通し線を三つ選び、その理由を例にならってそれぞれ解答欄に記せ。

なお、 α 一帯には葦(あし)が茂っている。

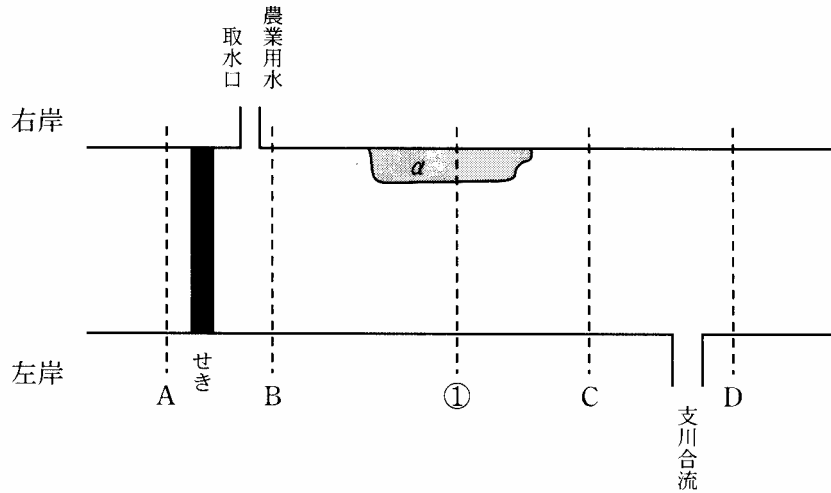


図 5 - 3

例	見通し線	不適切な理由
		葦の茂る部分は、死水域の可能性があり、正確な流速・流量の計測ができない。

<H17 - pm5 - D - 2：問題>

河) | | |における測量作業を実施するに当たり、行うべき安全対策を五つ、それぞれ 40 字以内で解答欄に記せ。

以降のマス目は、実際の試験問題には記述されていません。

1.

2.

3.

4.

5.
